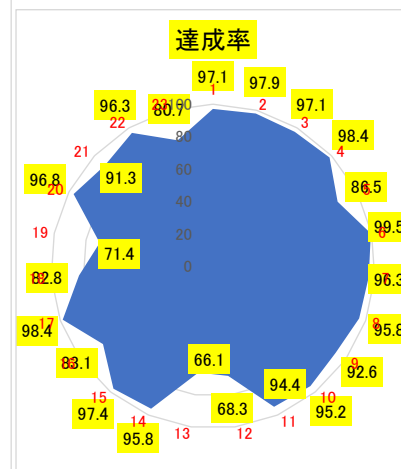
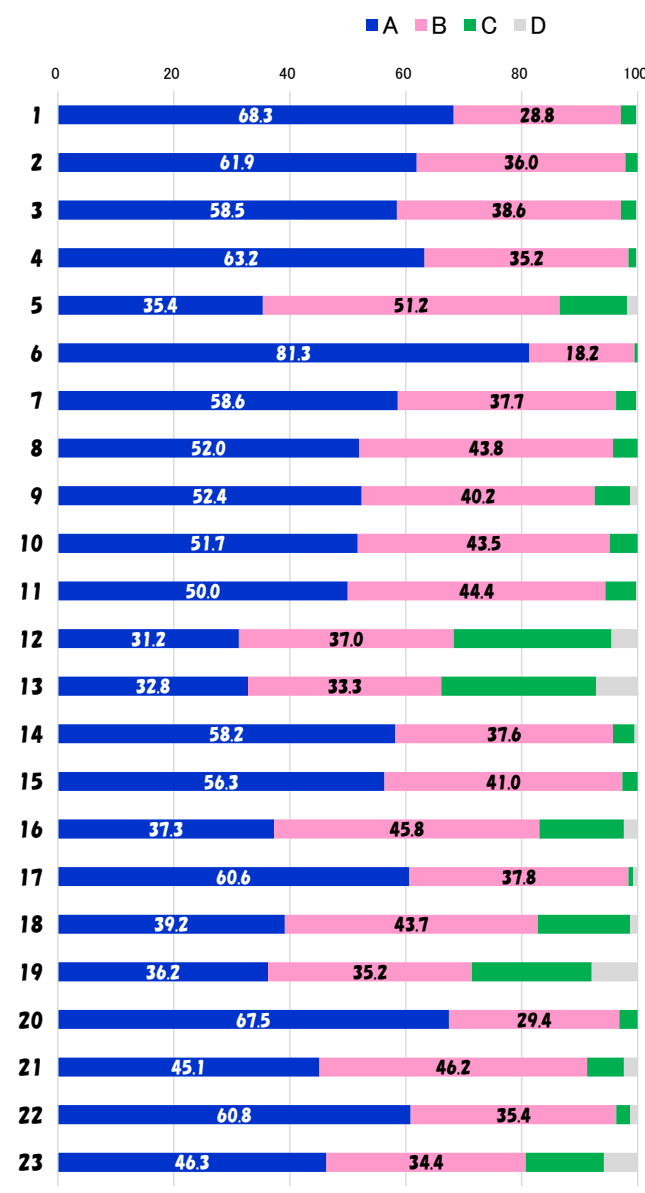


保護者アンケート（前期）

回答数 378

番号	アンケート質問内容	A=そう思う B=まあまあ思う C=あまり思わない D=そう思わない				%	達成率	R3 後期
		A	B	C	D			
1	我が子は、楽しく学校生活を送っている。	68.3	28.8	2.6	0.3	97.1	97.4	
2	学校は、思いやりの心や周囲と仲よくしようとする態度を育てようとしている。	61.9	36.0	2.1	0.0	97.9	97.9	
3	学校は、下級生の面倒を見たり、上級生に学んだりするように教えている。	58.5	38.6	2.6	0.3	97.1	95.0	
4	学校は、ルールやきまりの大切さを考えさせ、規律正しくできるように教えている。	63.2	35.2	1.3	0.3	98.4	97.6	
5	我が子は、あいさつができています。（あいさつ）	35.4	51.2	11.6	1.8	86.5	80.7	
6	我が子は、良いところがあると思う。	81.3	18.2	0.5	0.0	99.5	99.5	
7	塩川小学校は、さわやかですてきな校風の学校である。	58.6	37.7	3.4	0.3	96.3	97.1	
8	学校は、住んでいる地域を愛するように教えている。	52.0	43.8	4.2	0.0	95.8	95.0	
9	学校は、子どものことについて相談できる体制を整備し、対応している。	52.4	40.2	6.1	1.3	92.6	97.1	
10	学校は、わかりやすく勉強を教えている。（子どもは授業がわかると言っている）	51.7	43.5	4.8	0.0	95.2	93.2	
11	学校は、考えや思いを伝え合える子を育てている。（伝え合い）	50.0	44.4	5.3	0.3	94.4	96.3	
12	我が子は、家庭学習の習慣（10分×学年+10分）が身についている。	31.2	37.0	27.2	4.5	68.3	71.7	
13	我が子は、読書に取り組んでいる。（家庭や学校で）	32.8	33.3	26.7	7.1	66.1	59.8	
14	学校は、体力づくりに取り組んでいる。	58.2	37.6	3.7	0.5	95.8	93.7	
15	学校は、目標やめあてを持って、最後までがんばることを教えている。（目標）	56.3	41.0	2.6	0.0	97.4	96.8	
16	我が子は、将来の夢や目標を持っている。	37.3	45.8	14.6	2.4	83.1	89.5	
17	学校は、安全で健康的な生活が送れるように教えている。	60.6	37.8	0.8	0.8	98.4	98.2	
18	我が子は、食事や睡眠など規則正しい生活を送っている。（早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち）	39.2	43.7	15.9	1.3	82.8	84.3	
19	我が子は、ゲーム、スマートフォンの終了時刻20:00の約束を守っている。	36.2	35.2	20.6	7.9	71.4	68.9	
20	学校は、保護者会やお便り・教育ポータルサイト等で、学校の方針や様子を伝えている。	67.5	29.4	3.2	0.0	96.8	97.6	
21	自分は、参観日などの学校行事やPTA活動などに参加している。	45.1	46.2	6.3	2.4	91.3	89.5	
22	学校は、保護者や地域と連携・協働して子どもの教育にあたっている。	60.8	35.4	2.4	1.3	96.3	96.6	
23	高多市人づくりの指針・児童生徒がめざす姿「なかよくたくましく生きる」を知っている。	46.3	34.4	13.5	5.8	80.7	83.7	

令和4年度 保護者アンケート(前期)



分析

○令和3年度の後期の達成率と比べ大きな変化は見られない。

○23項目中16項目が90%を超えており、ほぼ高い評価をいただいているが、8割を下回る項目として、昨年度と同様に
 No.12 家庭学習の習慣
 No.13 家庭での読書
 No.19 家庭でのゲーム等の終了時刻
 の3項目があるが、児童の評価は
 No.12 86.8%
 No.13 73.5%
 No.19 80.7%
 と保護者と少しずれがある。達成率の低い家庭での読書だが、昨年度後期と比べると6.3%増えている。司書と司書教諭が様々な取り組みを行っており、本の貸出冊数は決して少ないわけではない。家庭におけるゲーム等に費やす時間も改善傾向にあるので、今後も継続して指導していく必要がある。

◎本校の指導の重点であるNo.5「あいさつ」は、昨年度と比べて6%ほど高い結果が得られた。学年や個人の差はあるが、これからの社会を生きる子どもたちに必要な資質の一つなので、今後も継続した指導が必要である。

●No.16「将来の夢」は昨年度から6.4%低い結果となった。児童の達成率も下がっているため、コロナ禍ではあるが夢や希望が持てる自己実現の場を確保していく必要がある。